

サプライチェーン・アジア・サミット2021

Orchestrating a brighter world

NEC



NECの気候変動取り組みのご紹介

～サプライチェーン全体でのネットゼロに向けて～

2021年3月11日

日本電気株式会社

サプライチェーン統括本部兼環境・品質推進本部

秋山 平

\Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

日本電気株式会社



会社数<連結子会社>

300社



従業員数

112,638人



創立

1899年



売上高<連結>

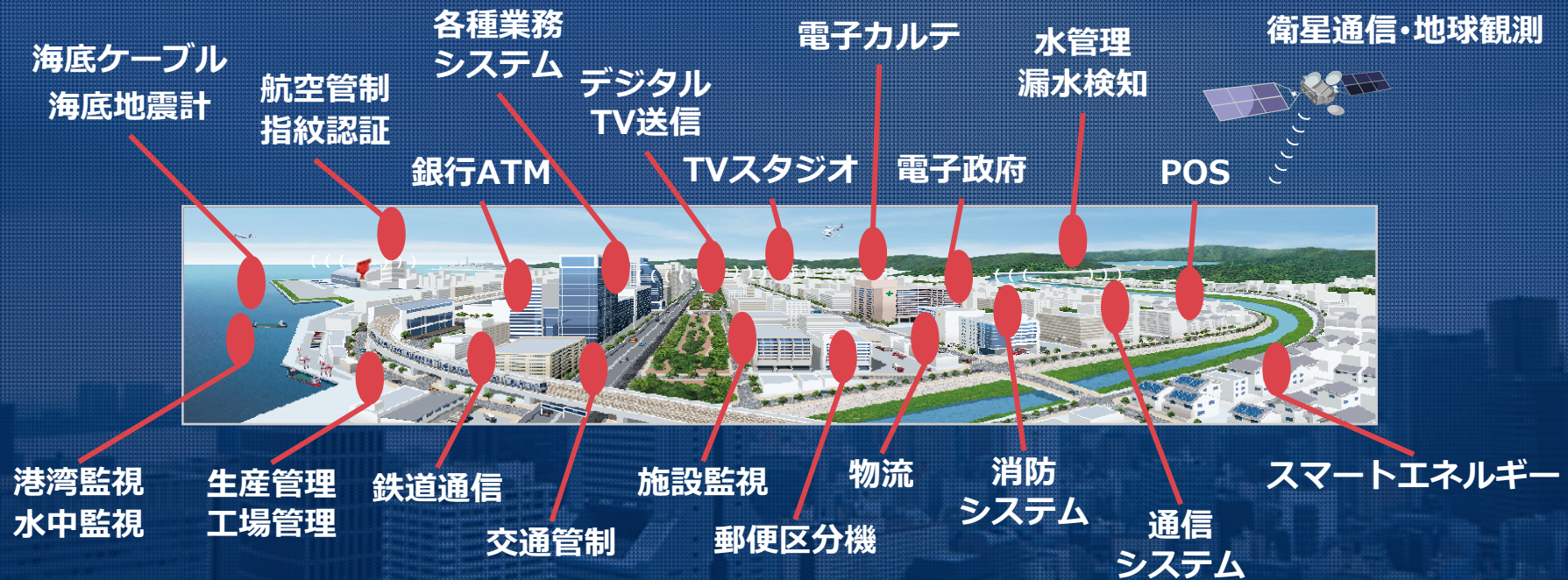
3兆952億



グループ主要事業

- 社会公共
- 社会基盤
- エンタープライズ
- ネットワークサービス
- システムプラットフォーム
- グローバル

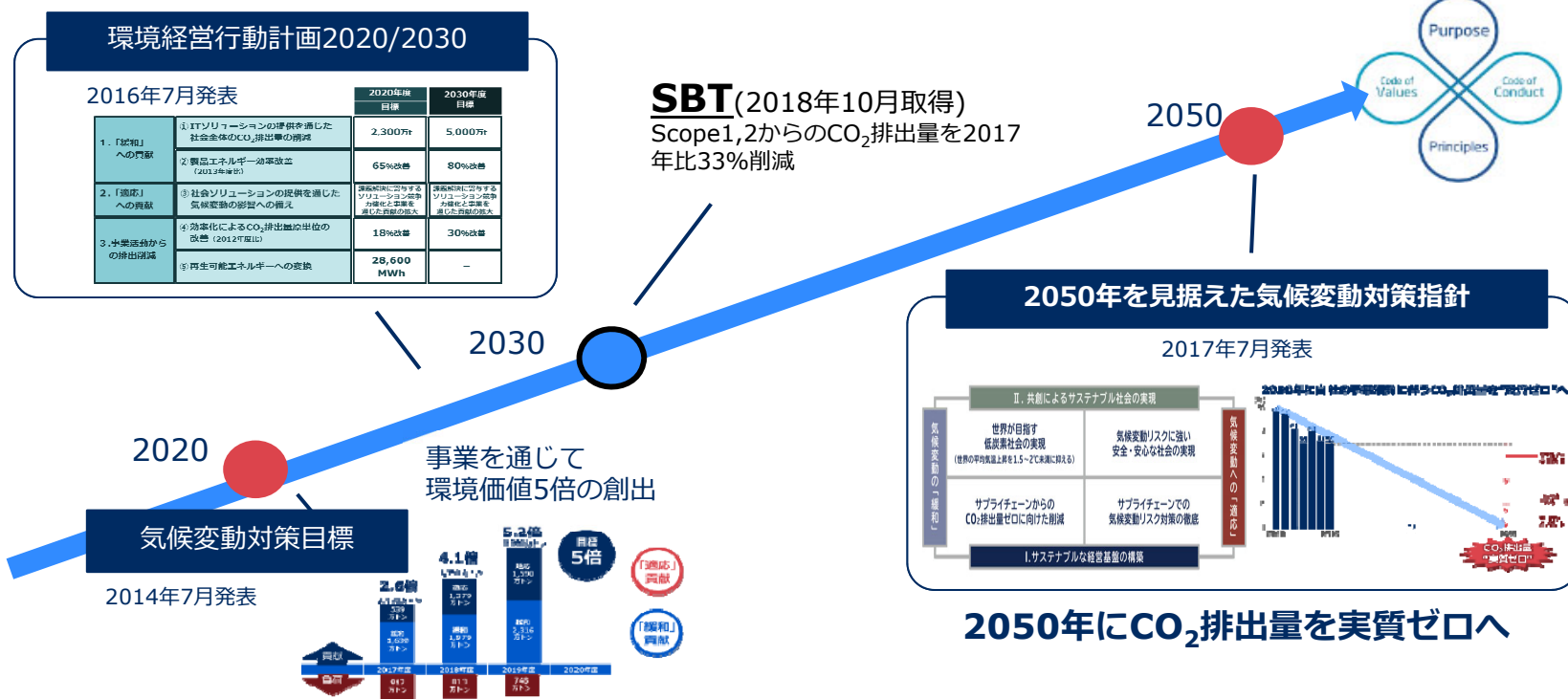
社会を支えるNECの事業例



「海底から宇宙まで」豊富な実績で社会に貢献

NECが取り組む環境の中長期目標

気候変動への対応として2050年CO₂排出量“実質ゼロ”を掲げ、2030年までのSBTを設定するとともに、事業を通じた環境価値拡大に取り組む



NECグループのSBT（2018年10月31日認定）

● Scope 1+2

2030年度までに
温室効果ガス排出量を
2017年度比で33%削減

● Scope 3

2030年度までに
販売した製品からの温室効果ガス排出量を
2017年度比で34%削減

[Target Classification]

Well-below 2°C



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

CDP対応

- CDPの「気候変動」「水」2部門で最高評価「Aリスト」に **2年連続選定**
- サプライヤエンゲージメント評価についても、最高評価の「サプライヤエンゲージメントリーダーボード」に今回初選定



サプライチェーン全体からのCO₂排出量実績

Scope1

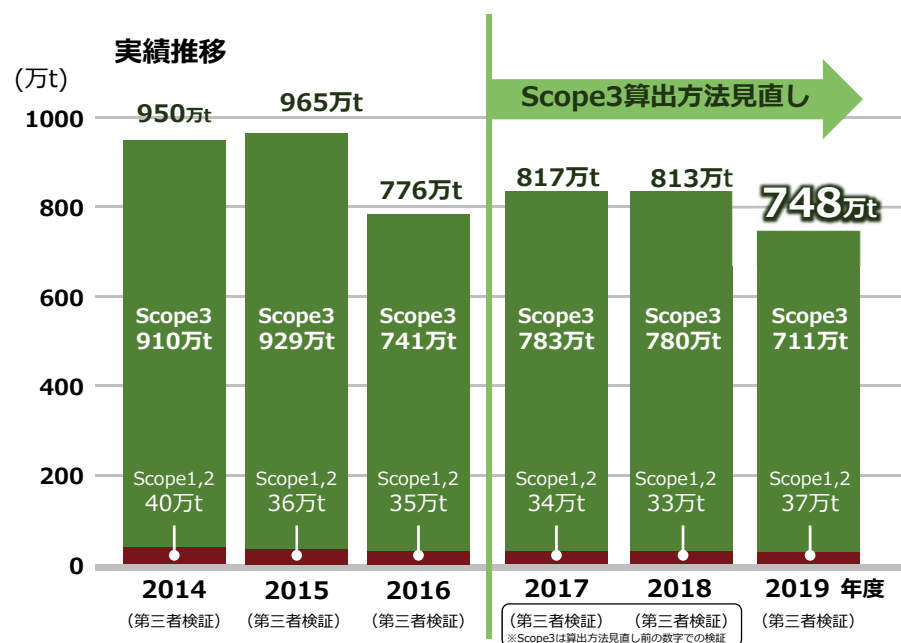
事業者が所有又は管理する排出源から発生する温室効果ガスの直接排出

Scope2

電気、蒸気、熱の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

Scope3

Scope 2 を除く企業群（サプライチェーン）全体からの間接排出



2019年度

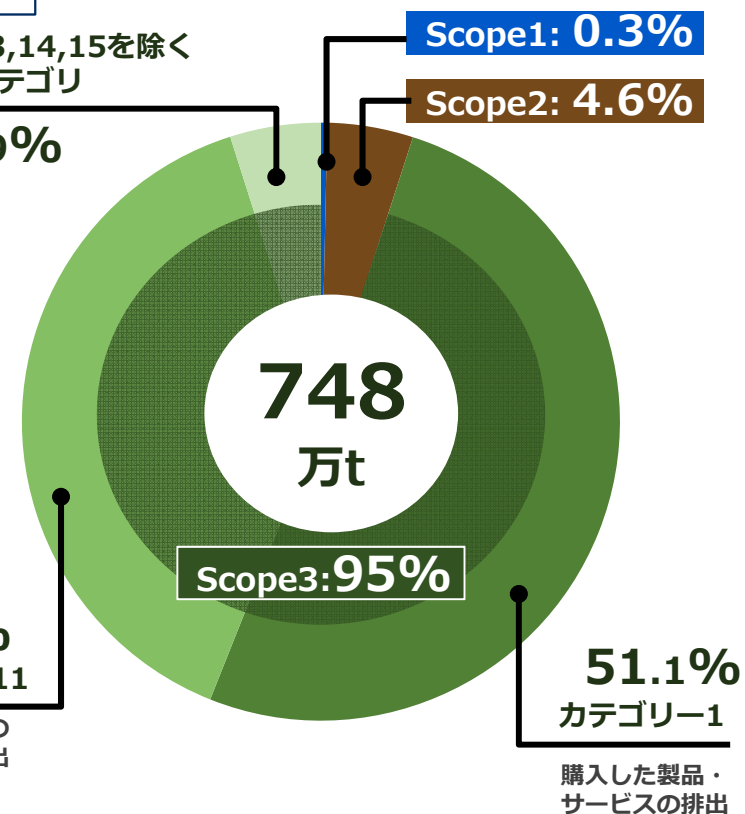
カテゴリ13,14,15を除く
その他のカテゴリ

4.9%

Scope1: 0.3%

Scope2: 4.6%

39.1%
カテゴリ11
販売した製品の
使用による排出



サプライヤ様とのエンゲージメントに向けた従来施策

周知徹底

- サプライヤ様向けグリーン調達ガイドライン改訂 [17年度]

CO₂排出量の削減対策と気候変動による影響を考慮したBCP対策を要請

実態可視化&エンゲージメント

- サステナビリティ調達SAQ書面調査^(※) [18年度~]

CO₂排出量実績、削減目標有無、再エネ活用状況 等を確認

- CDPサプライチェーンプログラム [19年度~]

動機付け

- サステナビリティ表彰制度創設^(※) [18年度~]

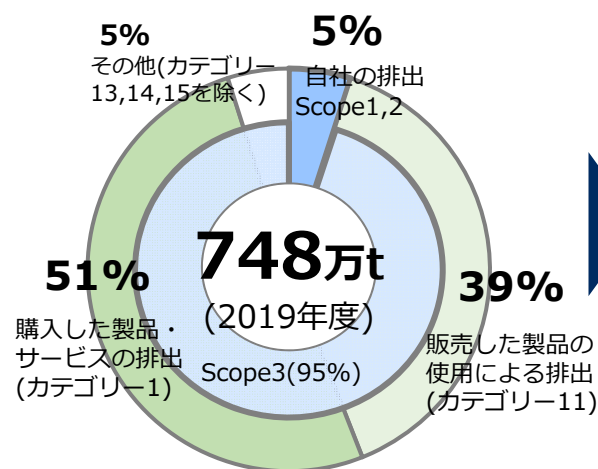
SAQ及びCDPサプライチェーンプログラムの回答結果を基に環境含むサステナビリティ活動を1次評価の上、NECグループへの環境視点での事業貢献について2次評価を行い表彰会社を選定。戦略サプライチェーンパートナー交流会にて表彰。

(※) 当初「サプライヤ環境調査」、「サプライヤ環境表彰」として開始しましたが、今年度、対象テーマ拡充や内容変更等を踏まえて名称変更しております。

サプライチェーン上流のCO₂排出量削減強化

21年度、Scope3 Cat.1のSBT目標を再設定し、削減取組の強化を予定

NECグループ サプライチェーン全体からのCO₂排出量実績と割合※（2019年度）



対象を拡大

購入した製品・サービスの排出
(カテゴリ1)

51%



従来の注力範囲

自社の排出
(Scope 1, 2)

5%



販売した製品の
使用による排出
(カテゴリ11)

39%



強化

サプライヤーエンゲージメントを通じて削減

継続

製品エネルギー効率の改善により削減

従来からの製品エネルギー効率改善の促進に加え、新たに
サプライヤーエンゲージメントを通じたCO₂排出削減対策を推進

※GHGプロトコルが策定した標準的な基準・ガイドラインに基づき算定。
産業連関表ベースの排出原単位を使用

今後の推進に向けたチャレンジ

以下課題に対して、CDPと連携を図りつつ、サプライヤ様、NEC双方がともにWin-Winとなるような実のある活動を進めてまいります。

- CDPサプライチェーンプログラムを起点としたCO₂削減に繋がる施策の強化

(サプライヤ様社名)

2020 年度 CDP サプライチェーンプログラム
フィードバックレポート

2021 年 3 月 ** 日
日本電気株式会社
環境・品質推進本部/環境推進部

1. 実施概要

NEC 調達受領率 9.9% (依頼社数 73 社中、回答受領社数 72 社 (98.6%))

(注) 72 社回答会社別業種別数 (CDP Activity Group による分類)

Cement & concrete (1 社) - Chemicals (1 社) - Construction (2 社) - Electrical & electronic equipment (54 社) - IT & software development (7 社) - Light manufacturing (1 社) - Media, telecommunications & data center services (1 社) - Metal smelting, refining & forming (1 社) - Oil & gas processing (1 社) - Other materials (1 社) - Powered machinery (1 社) - Trading, wholesale, distribution, rental & leasing (1 社)

2. 主要設問に対する貴社回答

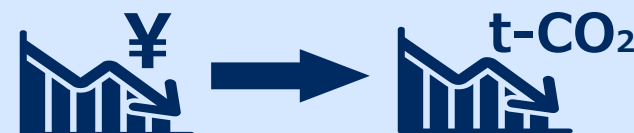
設問内容	CDP 設問番号	貴社回答	CDP サプライチェーンプログラム対応企業を対象とした CDP 各設問のスコア
20 年度 CDP スコア	N/A	A-	以下 3. を参照してください。
気候変動対策に関する 報告への取り組み	C3.1	Yes	85% of companies integrate climate-related issues into their long-term goals, via CDP.
気候変動の目標設定 状況	C4.1	Intensity target	73% of companies reporting target, via CDP.
Science Based Target (SBT)	C4.1a	Yes, unapproved	Commitment to SBT. SBT commitment for 1.5°C.

フィードバックシート提示による
サプライヤ様との対話を通じて、
削減に向けた共創へ繋げていく



- サプライヤ様のCO₂削減努力が
実際の集計排出量に反映される
仕組みの構築

(現状) 調達額×産業連関表の排出原単位
= 排出量



CDPのスコア3レポート等を使ったハイブリッドでの
算出方法について模索していく

\Orchestrating a brighter world

NEC